

## 第一貨物 盲導犬の育成支援 寄付20年目で感謝状

8月29日、山形市諏 無償貸与。目が見えない訪町の第一貨物(米田 い、または見えにくい 総一郎社長) 本社を日 人が行きたい時に行き本盲導犬協会の根本学 たい場所に行くことが 仙台訓練センター長ら できるよう、安全で快と盲導犬PR犬クラスが 適な盲導犬との歩行を 訪れ、同社による寄付 提供している。 20年目の節目を記念し 第一貨物は2005 年から毎年100万円 した感謝状が贈られた。 を寄付。亡くなった武 日本盲導犬協会は、 藤幸規元会長が、公共 視覚障害者の自立と社 会参加推進のため、盲 の道路を使い事業を営 導犬の育成・訓練や視 献活動の一環で寄付を 見えにくい人に自分た 練を行い、毎年35頭ほ 開始。以来、継続して 持っているか分かる機 などを盲導犬ユーザーに きた。新入社員の研修 会を増やしたい」とし

の一環として仙台訓練センターを訪問し、盲導犬育成過程の視察や、実際に目隠しをし



公道を使い事業を営む企業として今後も支援を継続する(左から松田伸三常務、米田社長、PR犬のラス、根本センター長)

た。

米田社長は、今後も寄付を継続していくとした上で「移動・交通の安全に関わる社会貢献の他、直近ではカーボンニュートラルに向けEVトラックを導入した。来年1月をめどに山形支店(山形市)の屋根に太陽光パネルを設置し、二酸化炭素削減を図る」と話した。

(矢田 健一郎)